

F★★★★
ホルムアルデヒド登録認定商品

低汚染セラミック変性ターペン可溶ウレタン樹脂塗料

コスモマイルドレタン

COSMO MILD RETAN

防カビ・防藻

高耐候

低汚染

COSMO
MILD
RETAN



関西ペイント

コスモマイルドレタン

COSMO MILD RETAN

特長

- 1 耐候性、耐汚染性が非常に優れています。
- 2 塗料用シンナーで希釈可能であり、臭気が少なく作業環境に優れています。
- 3 複層仕上塗材（中塗）および、多くの素地に対する密着が良好です。
- 4 光沢、肉持ち感が良好です。
- 5 塗装作業性に優れています。
- 6 内・外部に幅広く適用できます。
- 7 鉛・クロムを配合しておりません。

系統

低汚染セラミック変性ターペン可溶ウレタン樹脂塗料

主な適用素材

コンクリート、モルタル、無機建材、鉄、アルミニウム、亜鉛メッキ鋼材

主な適用下塗

JIS錆止塗料各種、スーパーザウルスⅡ、ザウルスEXⅡ、アレスイーブル、エポマリンGX、アレスホルダーGⅡ、アレスホルダーZ、マルチライルラフRE、ホルス下塗白、マルチタイルコンクリートプライマーEPO、エスコ など

荷姿

4 kgセット（ベース：3.6kg、硬化剤：0.4kg）
16kgセット（ベース：14.5kg、硬化剤：1.5kg）

混合比

ベース / 硬化剤 = 10 / 1

色

白色および各色

標準塗装仕様

■コンクリート・モルタル・スレート面

工程	塗料名・処置	所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	クラック、鉄筋の露出漏水などの部分に適切な処置を施す。 劣化塗膜をクレン工具（皮スキ、ワイヤーブラシ）で除去し、ホコリ、汚れなどを高圧水洗で取り除き乾燥した清浄な面とする。				
下地調整材 (下塗) (中塗)	アレスホルダーGⅡ 上水	0.8~1.5	8時間以上 7日以内	1~5	多孔質 ローラー
上塗 (1回目)	コスモマイルドレタン (ベース/硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	0.12	4時間以上 7日以内	0~10	ハケ、ローラー
		0.14		0~15	エアレス
上塗 (2回目)	コスモマイルドレタン (ベース/硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	0.12	-	0~10	ハケ、ローラー
		0.14		0~15	エアレス

■一般鉄部 (塗替え)

工程	塗料名・処置	所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	劣化している塗膜はクレン工具で除去する。さびは電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗表面を清掃する。 素地露出部は工程2の下塗を用いて補修塗りをを行う。				
下塗	ザウルスEXⅡ 塗料用シンナーA	0.13	4時間以上 7日以内	0~10	ハケ、ローラー
		0.17		5~15	エアレス
上塗 (1回目)	コスモマイルドレタン (ベース/硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	0.12	4時間以上 7日以内	0~10	ハケ、ローラー
		0.14		0~15	エアレス
上塗 (2回目)	コスモマイルドレタン (ベース/硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	0.12	-	0~10	ハケ、ローラー
		0.14		0~15	エアレス

■亜鉛メッキ面

工程	塗料名・処置	所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	全面清掃、脱脂、目荒しを行い、清浄な面とする。 白さびなどはワイヤーブラシ・サンドペーパーなどで除去する。				
下塗	スーパーザウルスⅡ (ベース/硬化剤=9/1) 塗料用シンナーA	0.14	4時間以上 7日以内	0~10	ハケ、ローラー
		0.17		0~10	エアレス
上塗 (1回目)	コスモマイルドレタン (ベース/硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	0.12	4時間以上 7日以内	0~10	ハケ、ローラー
		0.14		0~15	エアレス
上塗 (2回目)	コスモマイルドレタン (ベース/硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	0.12	-	0~10	ハケ、ローラー
		0.14		0~15	エアレス

施工上の注意事項

- 塗料の混合比率
①コスモマイルドレタンは2液混合形の塗料です。使用の際は、所定の混合比率を守って塗装してください。
②硬化剤は、必ず専用の硬化剤を使用してください。
③混合比率が異なったり、専用硬化剤以外のものを使用した場合、塗膜に粘着が残るなど塗膜性能に悪影響を及ぼすことがありますのでご注意ください。
④混合比率(重量比)ベース:硬化剤=10/1
- 汚れについて
①シーリング材、鉄サビに起因する汚れは、従来塗料と同等レベルです。
②建物の構造上、本来の低汚染性能が発現しない場合もあります。雨掛りの少ない被塗面や汚れが大量に流れ落ちる被塗面では十分な汚れ防止効果が得られないこともありますのでご了承をお願いいたします。
- 施工上の注意点
①本品はイソシアネート系の硬化剤を使用していますので塗装環境、特に高湿度の環境下での塗装はなるべく避けるようにしてください。また、塗装時に塗料やスプレーミストが直接皮膚や粘膜に触れないように、またスプレーミストを吸い込まないよう必ず保護具を着用してください。
②希釈シンナーは必ず、塗料用シンナーAをご使用ください。その他のシンナーを使用した場合、チミヤリ再溶解などが生じる場合があります。
③ハケ、ローラー、塗装機等の洗浄には、ラッカーシンナーをご使用ください。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

- 取り扱った作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようすること。
吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。
又、取り扱った作業場所には局所排気装置を設けること。
皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、顔中・入り巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
予 火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
防 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
禁 本来の目的以外に使用しないこと。
指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
取り扱った後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻洗浄を十分行うこと。
使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

- ④ベースと硬化剤を混合した塗料は、8時間以内(23℃)にご使用ください。
混合後、長時間経過した塗料を使用した場合、塗膜性能が低下する場合があります。
⑤気温5℃以下、湿度85%以上の環境では塗装を避けてください。また、強風時や降雨、降雪、結露が予測される場合も塗装を避けてください。
⑥吸い込みが大きい下地や部分的に下地調整を行なった場合には、エポキシシーラーをご使用下さい。(Vシーラーは不適)
⑦ツヤ調整仕上する場合は、1回目に「ツヤ有」、2回目に「ツヤ調整品」を塗ると、より仕上り性が向上します。
⑧1層目・2層目で異なる色を塗装する場合は、塗り重ねインターバルを1日以上空けてください。
⑨シーリング材の上は塗膜の付着や汚れが生じることがありますので塗装はお避けください。やむを得ず塗装を行う場合は「シープ」マルチタイルコンクリートプライマーEPOをご使用ください。
⑩溶剤適性のない旧塗膜は剥離の可能性があります。
⑪濃彩色仕上げの際、雑巾・ウエス等で強くこすると、色落ちや艶変化が起こる場合があります。
⑫汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
⑬蓄熱されやすい素材(軽質モルタル、ALC、窯業サイディングなど)などで、旧塗膜が弾性リシンや弾性スタッコ、複層弾性のアクリルックなどの場合、環境条件によっては水や温度の影響で塗膜が剥離の場合があります。これらの場合には既存塗膜を除去するなどの入念な下地処理を行ってください。

- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
漏出時や飛散した場合は、砂・布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
火災時には、炭酸ガス・泡、又は、粉末消火器を用いること。
指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のしない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと)。
本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施工者に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。
例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

本社 TEL (03) 5711-8904 FAX (03) 5711-8934 中部 TEL (052) 262-0921 FAX (052) 262-0981
北海道 TEL (0133) 64-2424 FAX (0133) 64-5757 大阪 TEL (06) 6203-5701 FAX (06) 6203-5603
東北 TEL (022) 287-2721 FAX (022) 288-7073 中国 TEL (082) 262-7101 FAX (082) 264-3285
北関東 TEL (028) 637-8200 FAX (028) 637-8223 四国 TEL (0877) 24-5484 FAX (0877) 24-4950
東京 TEL (03) 5711-8905 FAX (03) 5711-8935 九州 TEL (092) 411-9901 FAX (092) 441-3339

*製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご諒承ください。

ご用途は

(16年02月02刷 PPO) カタログ No.776